

豊高卒業の佐藤拓哉選手、全国警察柔道選手権優勝報告記

平成28年 9 月 28日 (水)

平成28年度全国警察柔道選手権73Kg級において、佐藤拓哉先輩（新潟県警機動隊巡查）が、新潟県警初となる優勝を飾りました。

優勝記念として、9月26日（月）に母校を訪れ、これまでの苦労などを校長室で語ってくださいました。その報告です。

佐藤拓哉選手の3年のときが新潟国体開催年に当たり、少年男子柔道のメンバーに豊栄高校柔道部員4人が選ばれ、佐藤選手はその一人でした。平成22年3月に豊栄高校を卒業後、国際武道大学に進み柔道三昧の生活を4年間送り、平成26年10月に新潟県警に採用されます。

県警では、平成27年4月に新潟東署に配属され、警察官の第1歩を踏み出しました。この頃の稽古は、3日に1回程度に過ぎず、今年2月に機動隊に配属されてからは、レインジャー部隊員として山岳救助に出動することもあるそうです。そして県警内で、4月から本格的な柔道の稽古の日々が始まりました。大学時代の最高成績が学生選手権でベスト16（66kg級）だったそうですが、警察官になってからは73kg級に階級を上げ、9月の全国警察柔道選手権の優勝となりました。警察内で自分を盛り立ててくれた上司、同僚のおかげです、と謙虚に語っていました。以下は佐藤選手への質問と答えです。

1 高校時代の思い出は？

- ・ 国体を目指し県外遠征が多かったのですが、良く体を壊しました。北海道遠征で「発熱」、宮城県遠征で「下痢」、長野県遠征で「新型インフルエンザ」で試合に出られませんでした。特に新型インフルでは保健所立ち入りの騒ぎでした。
- ・ 3年の卒業式の時、引退後伸ばしていた頭髮でちょっと叱られ、私は思い切って丸坊主になり式に出ました。

2 好きな食べ物は？

- ・ もうラーメンが大好きです。

3 将来の夢は？

- ・ 日の丸を付けて国際大会に出ることです。そのために、今年の講道館杯への出場権を得たので、ここでベスト4に入り、来年4月の柔道体重別選抜大会（福岡大会）の参加資格を得て結果を残すことです。柔道は実業団が強いので、簡単ではないですが頑張ります。

